

訪問記

「八王子桑の実サークル」

6月の都サ連担当者会議で八王子桑の実会(夜)から、都サ連についての話をしてほしいと依頼があり、7月27日に行って来ました。都サ連事務局内に同行者を募ったのですが、皆様都合が悪く一人で行くことになりました。

八王子駅改札口で都サ連担当の松尾さんと待ち合わせをし、齋藤さんの車で八王子市心身障害者福祉センターに向かいました。到着すると、すでに準備万端です。八王子市は東聴連宮本一郎理事長や全通研石川芳郎会長の地元でもあり、緊張していましたが、16年前の東京都手話講習会専門コースの、山崎幸司助手やクラスメイトの梅田さやかさんがいて、少しずつ気持ちが落ち着いてきました。

都サ連の歴史の話をする前に、一緒に運動を進めている加盟サークルである桑の実会に感謝の気持ちで一杯でした。サークル参加者は45人ほどでしょうか、その中で聴覚に障害のある人は3人とのことでした。始めに都サ連の話をしたのですが、古い会員の方達はうなずきながら話を聞いて頂きましたが、サークルに入って間もない人たちは、新しいことを聞くような雰囲気でした。メモをとっている人がいたり非常に熱心に話を聞いて頂くことができました。話に夢中になったことと、終了時間を間違えたこともあり、質疑応答ができず、すみませんでした。

後で都サ連担当者に次の質問があったとのことでした。『こんど千葉県手連と交流の機会があるらしいが、今後、災害時等に備え、少なくとも関東周辺の県手連と交流の必要はあるのではないか？またそういう動きは他県からも出ないのか？』とありました。全くその通りだと思います。地域だけで活動を完結するのではなく、幅広い視野に立って活動を進めることはとても大切です。加盟サークルの皆様には、今後とも都サ連の活動を支えてほしいと願っています。

通訳を担当して頂いた方、八王子の駅まで送り迎えをして頂いた、都サ連担当の齋藤さん、松尾さん、お手数をおかけしました。ありがとうございました。

(文責 高田)

訪問記

「帝京大学手話サークルcom&com交流会」
「駒澤大学手話サークルかえで交流会」

6月27日(土)、帝京大学手話サークルcom&com主催の交流会へ、高田代表と広報班大木で参加してきました。一次会を原宿駅近くの千駄ヶ谷区民会館で、二次会は新宿の居酒屋で開かれました。

また翌日の6月28日(日)、都サ連担当者会議の裏で、駒澤大学手話サークルかえで主催交流会へも大木単身で参加してきました。こちらも二部構成で、一次会は駒澤大学駒澤キャンパス、二次会は渋谷の居酒屋でした。

両団体とも、都内外の多数の大学生サークルから参加がありました。社会人ろう者らの参加もあり、また今までの訪問活動で面識のあった学生さんたちのおかげで、気兼ねなく参加できました。

企画も、ゲームがよく考えられていただけでなく、自由に交流し談笑できる時間がお茶菓子と一緒に十分に用意されていました。

その交流の時間では、「サークル外で手話を活用する機会がほとんどない」「たまにサークル外で聞こえない人と話ができると嬉しい」とか「都サ連からの情報提供は知ってはいたけど、よく知らないので手を出してなかった」などの声を聞きながら、耳の日や一日研修会など都サ連からお知らせする行事の様子について話してきました。

また、お互いの活動の様子や手話に関わる話をするだけでなく、初対面の団体との連絡先も交換もでき、都サ連パンフレットを名刺代わりに、交流会として有意義な時間を過ごしてきました。

今回様子見ということで、交流会への参加者は事務局内だけで調整しました。しかし都サ連加盟サークルへの還元を考えるとやはりなかなか難しい面もありそうで、今後もその都度適宜対応という形になりそうです。もし何かご意見ご希望などありましたら、事務局までお寄せください。

(文責 広報班 大木)